

エリアウェット

「山梨市教育ビジョン2023」の構築に向けて 山梨市教育長 嶋崎 修 氏

掲載内容

- ・山梨市新教育長 嶋崎 修 氏
- ・峡東地域の教育活動/イベント等の紹介
- ・ふるさと山梨/中学新人大会

令和4年11月15日 発行
 峡東教育事務所
 教育支援（地域教育担当）
 電話 0553-20-2731
 Fax 0553-20-2733

令和4年4月に就任された山梨市の 嶋崎 修 教育長に寄稿していただきました。

この4月より山梨市教育長を拝命した嶋崎修です。どうぞよろしくお願ひします。

「教育長拝命」は、自分自身にとっては、まさに「青天の霹靂」ともいえる出来事でしたが、就任に当たり、多くの方から励ましや応援の言葉をいただきました。その中の1つに「教育長ご就任おめでとうござひます。先生からいただいた宮沢賢治の詩は、今も職員室の机のマットに挟み、毎朝、一読してから教室に向かひます。今度は『わたしが教育長になったとき』ですね！（笑）」というメールがありました。送信者は、かつての教育実習生で、今は学校の中堅として、忙しいながらも充実した日々を過ごしている教員でした。そして、「宮沢賢治の詩」というのが、右の枠内にある「わたしが先生になったとき」という単調な詩のことです。「宮沢賢治の作」ということには諸説あるようですが、私は、いつも教育実習の最終日に配属された実習生に「教職の大変さは実習とは比較にならないけれど、教職の楽しさも実習の比ではないよ」という言葉とともに、プリントしたこの詩を渡してきました。その数は、約70名にもなります。実は、私自身も初任者研修で指導を受けた先生から、この詩を送られた経験が元になっています。単調な言葉の繰り返しですが、教師としての心構えとか、美学とか、いずれにしても教育という営みを介して子どもと対峙するに当たって、大切なものやことを教えてくれているような気がします。



山梨大附属小、牧丘一小、加納岩小等に教諭、管理職として勤務。この間、県教委指導主事、義務教育課長、教育監などを歴任し、教育行政にも長く携わる。山梨大学客員教授を経て4月より現職。62歳。

また、この詩の中の「先生」という言葉を「親」や「校（園）長」という言葉に替えたり、「子どもたち」の部分を「我が子」や「教職員」に替えたりすると別の感動や勇気が湧いてくるようにも思ひます。ラインの中で「今度は『わたしが教育長になったとき』ですね」とあったのも、「先生」の部分を「教育長」に置き換え、改めてこの詩を眺めてみてはどうかというメッセージであると感じました。

現在、山梨市では、今年度の教育活動を進めると同時に、「山梨市教育ビジョン2023」を作成しています。少子化に伴う学校規模の縮小、GIGAスクール導入による新た

わたしが先生になったとき

宮沢 賢治

私が先生になったとき

自分が真理から目をそむけて
子どもたちに本当のことが語れるか

私が先生になったとき

自分の未来から目をそむけて
子どもたちに明日のことが語れるか

私が先生になったとき

自分が理想を持たないで
子どもたちに一体どんな夢が語れるか

私が先生になったとき

自分に誇りを持たないで
子どもたちに胸を張れと言えるか

私が先生になったとき

自分がスクラムの外にいて
子どもたちに仲良くしろと言えるか

私が先生になったとき

ひとり手を汚さずに 自分の腕を組んで
子どもたちに頑張れ、頑張れと言えるか

私が先生になったとき

自分が戦いから目をそむけて
子どもたちに勇気を出せと言えるか

な学びの構築、さらには学校の多忙化解消等の課題に、これから先どのように取り組んでいくのか、そのための方向性やビジョンを学校・地域・家庭でしっかり共有していくことが不可欠です。教育長として、「真理から目を背けず、未来を見つめ、理想と誇りを持ち、しっかりとスクラムを組んで」その職責を遂行していかねばという思いを新たにしたところです。

エリアウェットで包括される峡東三市は、歴史的、文化的なつながりから、三兄弟（姉妹）のようでもあり、あるいは、年の近い従妹同士のような関係でもあるように感じています。これからも、相互に高め合い、連携する中で、峡東地域の教育向上に努めていきたいと考えています。改めてのご理解とご協力をよろしくお願ひします。

フッキー体験塾「空の職業体験」

笛吹市青少年育成協議会・笛吹市教育委員会生涯学習課



本物の飛行機と同じマイクでアナウンス体験

甲斐市の日本航空高等学校において、笛吹市青少年育成推進協議会事業フッキー体験塾「空の職業体験」が行われました。笛吹市内の小中学生約40名が参加し、3つのグループに分かれて、キャビンアテンダント体験、航空整備士体験、グランドハンドリング体験、ドローン操縦体験、防災基地見学などを行いました。最初は緊張気味の参加者でしたが、時間がたつにつれて講師の方に質問を重ねるなど、非常に活気のある体験塾となりました。広大な日本航空高校の敷地の中で非日常の体験を重ねることができ、参加者からは「すごい」「楽しい」「こんなの初めて」という言葉が随所から聞かれました。普段は体験できない「空の仕事」を体験した参加者の中から、未来のパイロット、キャビンアテンダント、整備士が誕生するかもしれません。



ドローンの操縦。子ども達はすぐにマスター



子ども達の指示による飛行機の誘導

図書館司書のお仕事を体験しよう！～Junior librarian 講座（甲州市立図書館）～

甲州市立塩山図書館



5名の小学生が参加しました

図書館にどんな仕事があるのかを実際に体験してもらう「Junior librarian 講座」が8月27日甲州市立塩山図書館で行われました。キャリア教育にもなる今講座は全2回で、11月に第2回目が勝沼図書館で行われ、修了時に「こども司書認定証」が授与されます。今回は「図書館のお仕事が気になった」「将来図書館でお仕事をしたい」と話してくれた5名の小学生（3年生3名、5年生2名）が参加しました。

第1回目は「図書館ってどんなところ」「図書館のサービス活動とは」「本の分類ってなに？（十進分類法）」「図書館のルール」などをテキストで学んだ後に、実際に図書館

を探検しながら分類の確認や貸出・返却などのカウンター業務を体験しました。分類の話は少し難しいかと思われましたが、職員の説明をしっかりと聞き、質問にも明確に受け答えをしていました。カウンター業務ではお互いに司書・利用者になって、上手に貸出・返却作業を行いました。また、書架への返却では本のラベルを見ながら場所を探し、きちんと返却することができました。体験後に全員が「楽しかった！」と言ってくれ、この中から将来の司書さんが生まれてくれたら嬉しいと感じました。勝沼図書館では違う内容の体験をする予定ですので、新たな体験を楽しんでほしいと思います。



体験により仕事のイメージがわきます

「ウッドコイン・モリー」でお買い物

山梨県森林公園 金川の森



爽やかな音色が森に響いていく

10月23日に笛吹市金川の森において「金川 Foresta Felice（フォレスタ フェリーチェ）」が開催されました。森の中での買い物や飲食・音楽ライブに加えて、スウェーデン発祥の木を使ったスポーツのクップを楽しみました。また、公園パークガイド監修の「金川の森の自然クイズラリー」も開催され、ラリーへの参加やクイズに全問正解すると焼き印入りの「ウッドコイン・モリー」を受け取ることができます。モリーは当日からの買い物に使用ことができ、今後のイベントでも使用できるとのことです。買い物や飲食にとどまらず、自然を体感しながら自然を楽しめるイベントとなっていました。ウッドコインを使った地域通貨の導入は珍しい取り組みなので、機会があればぜひご参加ください。



クイズラリーでウッドコインをゲット

爽やかな秋空の下で新しいスポーツを楽しもう！

山梨市子どもクラブ指導者連絡協議会・山梨市教育委員会生涯学習課

3世代交流事業「モルック体験会」



狙ったスキttlを倒せるか？

「モルック」とはフィンランドの伝統的なゲームを元に開発されたスポーツです。本場フィンランドでは、サウナや食事を楽しみながら気軽にモルックをプレイするのが主流です。ゲームでは「モルック」という木の棒を投げて、「スキttl（1～12の数字が書かれている）」と呼ばれる12本のピンを倒して点数を競います。通常2チームが対戦し、先に50点ちょうどを取ったチームが勝ちになります。

ここで、特徴的なのが点数の数え方で『◇1本しか倒れなかった場合は「書かれている数字」が点数 ◇2本以上倒れた場合は「倒れた本数」が点数』となります。なお、得点が50点を超えた場合は25点に減点されてゲームを



運も味方につける必要あり

続きます。その他に細かいルールもありますが、「ちょうど50点」にするのがこのゲームの肝で、ときに運も大きく作用します。9月11日に山梨市民総合体育館軽スポーツ広場で行われた体験会には8組24名の親子が参加しました。運命の一投に大きな声援を掛け合いながらの笑い合う爽やかな秋の一日となりました。

「スポーツ鬼ごっこ教室」



みんなでトレジャー（宝）を守り抜け！

スポーツ鬼ごっこは、鬼ごっこ協会がオリジナル開発した新しい鬼ごっこです。スポーツと遊び、ゲームの良さを取り入れた新時代の鬼ごっこで、決められたルールの中で、子どもから大人までが気軽に楽しむことができます。公式ルールでは5分間×2（ハーフタイム2分間）の7人制で、時間内にトレジャー（宝）を多くハント（獲得）したチームが勝ちとなります。10月22日に山梨市民総合体育館軽スポーツ広場で行われた教室には市内の小中学生とその家族50名が参加し、すし・ケーズデンキ・しゅりけん・スポーツ・クローバーの5チームに分かれて総当たりのリーグ

戦を行いました。スポーツ鬼ごっこの醍醐味は、攻めと守りのバランスです。点取り合戦なので守っているだけでは得点ならず、逆に攻めすぎると守備が薄くなって、あっという間に相手に得点を許してしまいます。子供たちは人数配置や攻めの戦術、攻守の切り替えのタイミングなどをいろいろなことを限られた時間の中で試していました。どのチームも開始時と比べて競技力が格段にアップし、あらためて子供の成長の早さを感じることができました。終了間際まで点差がつかない試合も多く、タイムアップの笛が鳴るまでドキドキです。最後まであきらめずに全員が全力で走り抜く姿は、素晴らしいの一言でした。



攻めには戦術と思い切りが大事

あそびの楽校で「ジャック・オ・ランタン」づくり

甲州市立大和小学校・大和自然学校



当日は3名のスタッフがサポート

10月19日に大和小学校を会場に、大和自然学校のスタッフによるハロウィンでおなじみの「ジャック・オ・ランタン」づくりが行われました。ジャック・オ・ランタンは、かぼちゃをくり抜いてランタンにしたものですが、ケルト人がもともと使っていたのは、かぼちゃではなくカブをくりぬいて作ったランタンだったそうです。かぼちゃに変わったのは、ケルト人がアメリカへ移住したことが理由とされています。カブはアメリカの土地にはなじみがない一方でかぼちゃは手に入りやすく、またラ

ンタンに加工しやすかったそうです。（スコットランドでは、いまでもカブのジャック・オ・ランタンがあるそうです）当日は希望した児童14名が参加し、スタッフのアドバイスを聞きながら楽しくランタンづくりに取り組みました。同じ材料であっても各児童の個性が表れており、この世で一つだけの作品に仕上がりました。なお、夜に内部の電灯をともして玄関に飾ることで、ジャック・オ・ランタンは完成となります。



似ていても同じではない作品

出前授業「縄文時代について考えてみよう」

甲州市立祝小学校・釈迦堂遺跡博物館

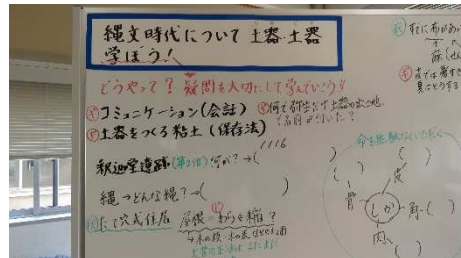


「本物」に触れることで意識も高まる

の作られた理由についての説明が行われましたが、本物の土器や鍬を手にする事で児童達は縄文時代の生活をイメージできたようです。学びに興味をもつためには、本物に触れる体験は非常に重要です。地域が誇る歴史的財産に触れることで、古代に思いをはせるきっかけが生まれた出前授業となりました。10月13日には博物館に出かけて実際に見学し、普段は見ることのできない収蔵庫も案内してもらい学習をより深めました。

9月5日に甲州市立祝小学校の6年生を対象に出前講座が行われました。釈迦堂遺跡博物館の学芸員である一瀬一浩氏を講師に迎え、縄文時代についての授業が行われました。釈迦堂遺跡からは日本で2番目に多くの土偶が出土されています。その数はなんと1116点！（ちなみに1番目はどこか分かりますか？ヒントは東北地方にある遺跡です）これだけたくさんの土偶が出土する場所は全国的にも珍しく、国の重要文化財にも指定されています。授業

では縄文時代の由来、縄文土器の特徴、縄文人の暮らし、土偶



学びを振り返ることで理解が深まる

一流の芸術に触れる非日常の体験

笛吹市立一宮西小学校・シエナ ウインド オーケストラ



目の前にトップのフルオーケストラがいる幸せ

量に引き込まれていきました。今回指揮をとった井村誠貴氏は年間に約100公演を行い、繊細かつダイナミックな指揮で多くのファンを魅了しています。当日は演奏にあわせて児童と先生方がボディーパーカッションを行うなど、音楽に親しむ取り組みが盛りだくさん。アンコールのアフリカンシンフォニーでは、ホルンによる象の雄叫びが体育館いっぱい響き渡り、熱気に満ちあふれた2時間の鑑賞会となりました。

10月13日に一宮西小学校体育館にシエナウインドオーケストラを招いての芸術鑑賞会が行われました。本鑑賞会は文化庁の「文化芸術による子ども育成事業」によるもので、一流の文化芸術団体が小中学校での公演を通して芸術を鑑賞する機会を得ることで、子供たちの発想力やコミュニケーション能力を育成することを目的としています。小学校の体育館にフルのオーケストラが並ぶ姿は、まさに圧巻の一言。日本を代表するシエナウインドオーケストラの演奏はバーンスタインのキャンディード序曲から始まり、児童たちは美しいハーモニーと圧倒的な音量



演奏に合わせてレッツダンス！

山梨県のブドウはなぜ美味しいの？

山梨市立日下部小学校・JA フルーツ山梨・全農



SDGs と食育との関係にも触れる

気候（寒暖差・四季がはっきりしている）・水が美味しい・日照時間が日本一が組み合わせられたことで、世界に誇れる品質のブドウが生まれるとのこと。また、ビタミンCとミネラルの必要量をとるためには果物では一日200g摂取することが目安で、みかんでいうと2個分です。（ブドウではどのくらいでしょうか？）ビタミンCは水に溶けやすく熱に弱いので、果物による摂取は効率的だそうです。最後にサプライズで児童にシャインマスカットがプレゼントされ、地元が誇る名産品の理解もより深まったのではないのでしょうか。

10月25日に日下部小学校の5年生を対象に「JA フルーツ山梨食育講座」が行われました。講師の加藤恵美子さんは山梨で初めて野菜ソムリエの資格を取得し、現在は全国でも数少ない最高峰の資格であるシニア野菜ソムリエの資格を有しています。現在はフルーツコンサルタントとして、県産果実の販売やイベント・講演会等において、県内外のフルーツ消費拡大のために活動をしています。今回の講座は「山梨のブドウの特徴」「毎日果物を食べる必要性」「ブドウ（栄養など）について」の3部構成で行われました。山梨のブドウが美味しい理由は4つ。「盆地特有の地形（傾斜地）・盆地特有の



一人に一房のシャインマスカット

土の恵みに感謝 ～全校でのサツマイモ掘り集会～

甲州市立玉宮小学校



大物を掘り出すには協力が必要

前夜の寒さで富士山頂上が真っ白になった翌日の10月25日、玉宮小学校では恒例の「サツマイモ掘り集会」が行われました。集会は元気いっぱいの6年生が主導し、全校生徒が赤組白組に分かれて収穫となりました。校舎裏にある畑は日頃から手間をかけていることもあり、非常に豊かな土壌となっています。サツマイモは予想以上に大きく成長しており、30センチ近い大物も収穫されました。一人で掘り出せない場合には友達と協力しながら作業を続けます。大きなイモも小さなイモも同じように丁寧に掘り出しながら、「これ大きい」「小さくてかわいい」と声を掛け合う姿が印象的でした。先生と児童が協力することで、予定通りに収穫は終了しました。植物はしゃべりませんが、手間をかければその成果が目に見えて現れます。自分たちが春に植えたサツマイモが、水やり・除草などの段階を経ることで、秋に立派に成長する過程を経験できたことは人生における財産となるはずで

す。また、掘った後の芋のつるは学校裏向かいにある「ヤギーズビレッジ」のヤギたちの餌として無駄にすることなく使われています。11月に行われるふれあい集会に参加する方に、収穫したサツマイモを配る予定となっています。



自分たちで作ったからこの喜び

パワーアップした「ほかほか祭」

笛吹市立芦川小学校



10/21 コンニャクイモの収穫

11月5日、芦川小学校の体育館で笛吹市社会福祉協議会、地域の方々、都留文科大学の学生の協力のもとに「ほかほか祭」が開催されました。和太鼓の演奏の後、総合的な学習の時間や生活科の時間に調べた地域のことを発表したり、学校農園で育てたコンニャクイモを使い、保護者や地域の方々と一緒にコンニャクづくりを行いました。

今年度は新しいことにチャレンジしようということで、各学年の出し物やO×クイズが加えられました。出し物は各学年とも練習の成果を発揮して来場者から大きな拍手を受け、芦川に関するO×クイズでは、参加者同士の会話も弾み楽しい雰囲気の中で芦川の魅力について学ぶことができました。最後に参加者全員で記念撮影を行い、会場全体が、ほかほかという温かい心に包まれたお祭りとなりました。



10/25 炭の窯出し



コンニャクづくりをする家族



感想を発表する児童ら

どこまで飛んでいくの? ～ペットボトルロケット教室～

あつまれ! かすがいわらべ塾・笛吹市生涯学習課



オリジナルのデザインを施す

10月22日に笛吹市春日居小学校の体育館とグラウンドを会場に「ペットボトルロケット教室」が行われ、市内の児童・保護者あわせて32名が参加しました。まずは体育館でオリジナルのペットボトルロケットの作成です。スタッフの説明を受けながら、設計図をもとに子供たちは一生懸命に手を動かします。最初はぎこちなく保護者に頼り気味だった子供たちが、次第に「自分の力」でロケットを作り上げようとしています。微調整を繰り返しながら、満足のいくまで取り組む姿は技術者そのものです。最後にロケットにお気に入りのペイントを施してロケットは完成。いよいよグラウンドでの発射に向かいます。

事前に担当者から「グラウンドを飛び越える可能性があるので、角度と方向には充分注意してください」との指示がありましたが、試射でもロケットはグラウンドを横断するほどの勢い。その後に各自のロケットが青空に向かって打ち上がるたびに「わあ、すごい!!」「ああ、失敗だ・・・」という歓声上がる楽しいひとときとなりました。



圧縮した空気を解放すると・・・

「ふるさと山梨郷土学習コンクール」で峡東地域からの入賞者多数！

山梨県教育委員会

ふるさと山梨郷土学習コンクールは、山梨に関する研究作品のコンクールを通して山梨県の全ての児童生徒に「郷土への愛情や誇りを育むこと」を目的としています。令和4年度は県全体で1964点の応募があり、その中で峡東地域からは多くの児童・生徒の作品が入賞を果たしました。

特に山梨市立八幡小学校の高梨詩楠さんは『甲斐の虎は読書家だった～武田信玄と本、読書について～』で最高賞の「ふるさと山梨大賞」を受賞しました。詳細については山梨県HP「第15回（令和4年度）ふるさと山梨郷土学習コンクール」に掲載されていますので、ご参照ください。

※「大賞・優秀賞・優良賞」（峡東地域）のみを掲載します。

小学校

ふるさと山梨大賞（知事賞）	八幡小・高梨 詩楠さん
ふるさと山梨優秀賞（教育長賞）	玉宮小・安部 翔太さん 加納岩小・三澤 茜さん
ふるさと山梨優良賞（推進委員長賞）	祝小・阿部 惺さん

中学校

ふるさと山梨優秀賞（教育長賞）	春日居中・中村 海人さん 塩山中・廣瀬 凌輔さん
ふるさと山梨優良賞（推進委員長賞）	山梨北中・岡村 隼さん 塩山中・山田 正憲さん 勝沼中・柳本 歩瑠さん 勝沼中・平山 風花さん



ふるさと山梨大賞

峡東地域中学校 新人体育大会（10月）

— 団体の部 —

東山梨地区 優勝校

野球	山梨北
サッカー	山梨南
バスケットボール	男子 山梨北 女子 山梨北
バレーボール	男子 塩山 女子 山梨南
ソフトテニス（団体）	男子 勝沼 女子 山梨北
卓球（団体）	男子 山梨南 女子 山梨南
剣道（団体）	男子 勝沼 女子 山梨北
ハンドボール	男子 塩山 女子 塩山
ソフトボール	塩山



笛吹地区 優勝校

野球	石和
サッカー	石和
バスケットボール	男子 浅川 女子 御坂
バレーボール	男子 一宮 女子 御坂
ソフトテニス（団体）	男子 一宮 女子 春日居
卓球（団体）	男子 御坂 女子 春日居
剣道（団体）	男子 一宮 女子 一宮
弓道（団体）	男子 石和 女子 石和
柔道（団体）	男子 御坂 女子 石和



PDF版をご覧ください

『エリアウェップ』はPDFカラー版を峡東教育事務所のホームページに掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。



エリアウェップ
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/diiki/backnumber.html>

ご意見をお寄せください

『エリアウェップ』のご意見・ご感想・取材情報スタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。



お問い合わせ

E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp